



## 褒めることの大切さ

副校長 大杉 昭雄

学校生活には、当然のことですが、子どもたちが活動する種々様々な場面があります。この活動の意味を考えてみたいのです。活動とは、目的をもって活発に働くという意味です。したがって、結果を求めるだけではなく、自分が行動をすることの意味や価値観を理解しながら、自主的、自発的に行動しなければなりません。目的意識をもった行動ということなのです。

授業中の教室で、黙々と課題に取り組んでいる子、一生懸命に自分の言葉で語ろうとする子、掃除の時間、辛い姿勢のぞうきんがけを精根込めてやりきる子、休み時間が終わるとき、さんざんみんなで遊んで放り出されたままのボールをさり気なく拾いあげる子、さわやかなあいさつができる子、言葉遣いの丁寧な子、服装が整っている子... 等々、心構え、心配り、心遣い、心の強さを持ち合わせた子どもたちをみると「立派な学校生活を送ってくれてありがとう。」とお礼を言いたくなります。

日本のジュニアサッカーでは、以前から導

入されていたようですが、グリーンカードのルールがあります。称賛されるべき選手に提示されます。海外でもグリーンカードの導入を取り入れることを検討されているそうです。

荏田東第一小学校の子どもたちも、やるべきこと、成すべきこと、果たすべきことを地道ではありますが、確実に実現できている子がたくさんいます。

『子どもたちは、褒められるために学校に来ている。』

これからも、子どもたちの頑張っている場面を見つけ、「上手だね。」「よくがんばったね。」「すばらしいね。」と心から褒めていきたいと思います。

さて、今月の11月12日(土)～17日(木)はオープンウィークとさせていただきます。是非、この機会に子どもたちの学習や活動の様子をご覧いただき、地域の皆様や保護者の皆様からも子どもたちの頑張りに、背中を押す言葉を掛けていただければ幸いです。引き続き温かいご支援、ご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。